

日本キンボールスポーツ連盟中長期目標

当連盟では下記中長期目標に従って普及活動を進めています

■学校体育(正課)カリキュラムへの導入

関係省庁、市町村教育委員会に働きかけキンボールスポーツが学校体育の教材として正式導入されることをめざします。キンボールスポーツ学校体育導入プロジェクト*を2005年度より実施しています。※詳細は下記を参照。

■国体ならびに全国規模のスポーツイベントへの積極的参加

国民体育大会デモンストレーション種目として継続参加をめざします。開催地となる都道府県支部連盟の強化と日本連盟の支援を徹底します。

●国体(国民体育大会)にデモンストレーション競技として参加決定

2012年:岐阜県羽島市

2013年:東京都中央区、豊島区、荒川区

2015年:和歌山県田辺市

※全国スポーツ・レクリエーション祭は2011年度の第24回大会をもって終了しました。

■全国47都道府県支部設立及び日本体育協会加盟

全国47都道府県すべてに支部を設立することをめざします。未だ支部設立されていない県を中心に連盟主催講習会を行い、普及をすすめます。また、関係者にはたらきかけ支部設立に取り組んでいます(現在33都道府県に支部

連盟設立)。また支部の都道府県体育協会加盟を推進し、日本体育協会加盟団体をめざします。

■アジア連盟の設立とアジア各国との国際交流の推進

2011年の兵庫県宝塚市におけるパンパシフィックカップ開催を契機にアジア諸国にはたらきかけ、アジア連盟の設立をめざします。またアジア選手権などキンボールスポーツを通じた国際交流を促進します。

■多世代や障がいをもつ人々の参加機会の拡充、交流大会の創設

キンボールスポーツがすべての人々に開かれたスポーツであることをめざします。ルールバリエーションの採用や関係団体との連携により、誰でもが参加しやすい環境づくりに取り組んでいきます。

■組織基盤・財政基盤の早期確立による事業の充実

2010年より日本キンボールスポーツ連盟は一般社団法人に生まれ変わりました。今後より一層の事業の充実のため制度・組織の見直しを図り基盤整備の充実をめざします。



キンボールスポーツ学校体育導入プロジェクト

2005年度に発足したこのプロジェクトは、市町村単位でモデル地区を指定し、一定期間継続してその地区にある学校の体育の授業でキンボールスポーツを行ってもらうというものです。キンボールスポーツが「励まし、助け合い、感動の共有や協調性を高める」というコンセプトを具現化したスポーツであり、「生きる力」を身につけることができるスポーツであるということ子どもたちだけでなく、先生や保護者にも実感してもらい、現場から学校体育導入への声をあげてもらおうという試みです。

なお、2012年度のモデル地区は岐阜県羽島市の小学校全9校に決定しました。

このプロジェクトの概略は下記の通りです。

主催:日本キンボールスポーツ連盟

地区:全国でモデル地区(市町村単位)を指定

期間:1年もしくは1学期間

内容:①地域内全小中学校に公式に教育委員会経由で文書にて依頼します(教育委員会の協力をお願いします)。

②小中学校の体育においてキンボールスポーツを導入してもらい、年間計画に組み入れて頂きます。

③事業終了後、所定の様式に基づいた報告書、または論文を提出して頂きます。



支援:当連盟は下記の支援を行います。

①地域内の全ての小学校にそれぞれボール2個、電動ブロフ1個を期間内無料貸与します。

②校内及び教育研究会体育部会等の講習会に講師を派遣します。

③TT(チームティーチング)等の指導者を派遣します。過去の実績:2005年度から始まったこのプロジェクトは、

●2005年度・2006年度 1町1地区

宮城県七ヶ浜町(全3校/小学校)

岡山県真庭市北房地区<旧北房町>(全5校/小学校)

●2007年度 1市1町

山口県下関市(全33校/小学校)

北海道中富良野町(全6校/小学校)

●2008年度 1町

北海道白老町(全4校/小学校)

●2009年度・2010年度・2011年度 1市

兵庫県宝塚市(全24校)

で実施されました。

DATA (2011年3月末日現在)

リーダー(普及指導員)数	823名
ファン(登録者)数	17,610名
マスター(上級指導員)数	834名
サポーター(会員)数	1,921名
グランドマスター	3名

国際事情 国際キンボールスポーツ連盟(本部:カナダ・ケベック州)

加盟国	カナダ、ベルギー、フランス、ドイツ、スペイン、スイス、デンマーク、チェコ共和国、韓国、日本
加盟準備国	マレーシア、オーストラリア、ニュージーランド、アラブ首長国連邦、オランダ、ポルトガル、イタリア、中国